

岸和田城天守閣耐震対策検討委員会 現地確認資料

○指定地周辺の歴史的環境について ※保存活用計画より抜粋

岸和田城天守閣は、大阪府指定史跡岸和田城跡に所在し、天守台が築かれた本丸部分に位置している。岸和田城がいつ現在の位置に築かれたかは正確にはわからないが、14世紀後半頃には前身となる居城あるいは土居が存在したと考えられる。天守台は、大阪湾に沿って形成された標高9m前後を測る海岸段丘上におよそ4mの盛土を施し築造され、その前縁の一段下がった海側に二の丸を配置している。

岸和田城は、戦国時代に守護代松浦氏らが和泉国の中心城郭として整備し、永禄元（1558）年頃、三好一族の十河一存も入城した後、天正13（1585）年に、豊臣秀吉が根来寺、紀州勢力との戦いに際して当城を拠点とした。

文献史料に「岸和田城」の名が認められるのは16世紀半ば以降のことである。近世城郭としての岸和田城は、天正13（1587）年に小出秀政が城主として入城後、順次整備されたと考えられている。五層の天守が慶長2（1597）年に完成した後、慶長7（1602）年頃から城下町を北東から南西に貫く紀州街道が整備される。小出氏3代の後、元和5（1619）年に松平康重が丹波国篠山より城主として入城し、城下の臨海部に防潮石垣を築くなど、城下町が形成された。

その後、寛永17（1640）年に岡部宣勝が摂津国高槻より6万石で入封し、岡部氏が明治維新まで十三代続く。文政10（1827）年には落雷により天守が焼失、その後、藩政中に再建されることはなかった。明治時代初め、伏見櫓を始め、岸和田城に関する建物はことごとく取り払われ、城内に当時から現存する建物は無い。

○岸和田城復興天守閣について

天守閣は、池田谷(いけだや)久吉(ひさきち)が設計、岩出建設株式会社が施工、昭和29（1954）年1月に起工し、同年11月に竣工した。建築構造は、大天守が鉄骨鉄筋コンクリート（SRC）構造の三層建、小天守は鉄筋コンクリート（RC）造の二層建である。

また、基礎構造は天守台の石垣を壊さないように潜函工法で行われ、天守台の内側に巨大なケーソンを構築している。戦後に築かれた天守としては、富山城（昭和29（1954）年4月）に次ぐ建築物となる。

池田谷久吉は、明治30（1897）年に現在の大阪府泉佐野市に生まれ、大阪市立大阪工業学校本科建築科を卒業後、大阪府に入庁。大正15（1926）年には池田谷建築事務所を創立。主に寺社建築を手がけるが、官公庁の建築なども行うなど、多様な様式を用いて和・洋の建築物の設計を行う。また、設計の傍ら古寺社建築の調査や考古学の発掘調査も手がける。

現存する主な建築物には、金光教玉水教会(こんこうきょうたまみずきょうかい)会堂（大阪市 国登録文化財）、観心寺(かんしんじ)恩賜講堂（河内長野市 重要文化財）、池田谷家住宅主屋・蔵（泉佐野市 国登録文化財）、旧中林綿布工場（泉南郡熊取町指定文化財）などがある。

○略年表

- ・昭和 18 (1943) 年 月 大阪府史跡に指定
- ・昭和 29 (1954) 年 1 月 岸和田城三層模擬天守閣建設工事着工
(設計：池田谷久吉、施工：岩出建設株式会社)
- ・昭和 29 (1954) 年 11 月 岸和田城三層模擬天守閣竣工、図書館として開館
- ・昭和 44 (1969) 年 11 月 隅櫓・多聞櫓、城門および土塀建設竣工
- ・昭和 45 (1970) 年 5 月 隅櫓・多聞櫓を市立郷土資料館として開館
- ・昭和 50 (1975) 年 4 月 天守閣から図書館が現在地に移転
- ・昭和 51 (1976) 年 5 月 天守閣を郷土資料館として再公開
- ・平成 3 (1991) 年 8 月 天守閣改修工事着工
(設計：株式会社比石英二建築事務所、施工：岩出建設株式会社)
屋根瓦葺き替え、壁面塗り替え、飾金具新調、内装刷新その他
天守閣と本丸土塀のライトアップ設備設置
- ・平成 4 (1992) 年 8 月 天守閣改修工事竣工
- ・平成 26 (2014) 年 10 月 岸和田城庭園（八陣の庭） 国指定名勝に指定

○岸和田城概要

- ア 名称 岸和田城（昭和 29 年 11 月 12 日築）
- イ 所在地 〒596-0073 大阪府岸和田市岸城町 9 番 1 号
- ウ 施設の構造・規模等 敷地面積：5,494.1 m²

- ①天守閣 建物規模 地上 3 階
建築年月 昭和 29 年 11 月
構造 鉄骨鉄筋コンクリート造

階層	床面積 (m ²)	概 要
1 階	401.14	受付、ホール、トイレ、学芸員室、事務室、展示室、機械室、倉庫
中 2 階	45.10	倉庫
2 階	280.65	展示室、機械室、収蔵庫、倉庫
中 3 階	107.74	収蔵庫
3 階	80.77	望楼

※入口に受付有。入場料が必要な有料の展示施設。3 階は貸館。1 階から中 3 階は、主に市が郷土文化資料の展示・保管のために使用。

- ②多聞櫓・隅櫓 建物規模 地上 1 階
建築年月 昭和 44 年 11 月
構造 鉄筋コンクリート造

階層	床面積 (㎡)	概要
1階	190.84	ギャラリー、受付、トイレ、倉庫

※入場料無料の展示施設。インバウンド向けの多言語対応展示あり。

- ③櫓門 建物規模 地上2階
 建築年月 昭和44年11月
 構造 鉄筋コンクリート造

階層	床面積 (㎡)	概要
1階	40.32	倉庫
2階	63.6	貸室、宿直室、倉庫、厨房

※現在は警備員室及び多目的室として使用。2階貸室は貸館。

○岸和田城の入場者数

(人)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
入場者数	41,565	38,500	43,983	25,212



[図1] 岸和田城跡周辺図 (大阪府指定史跡・周知の埋蔵文化財包蔵地ほか)

○景観写真①



正面より（天守閣）



正面より（天守閣及び天守台）

○景観写真②



裏面より（天守閣）



裏面より（天守閣+天守台）

○景観写真③



左面より（天守閣）



左面より（天守閣+天守台）

○景観写真④



右面より（天守閣）



右面より（天守閣+天守台）

景観写真⑤



上より (天守閣)



上より (本丸跡)